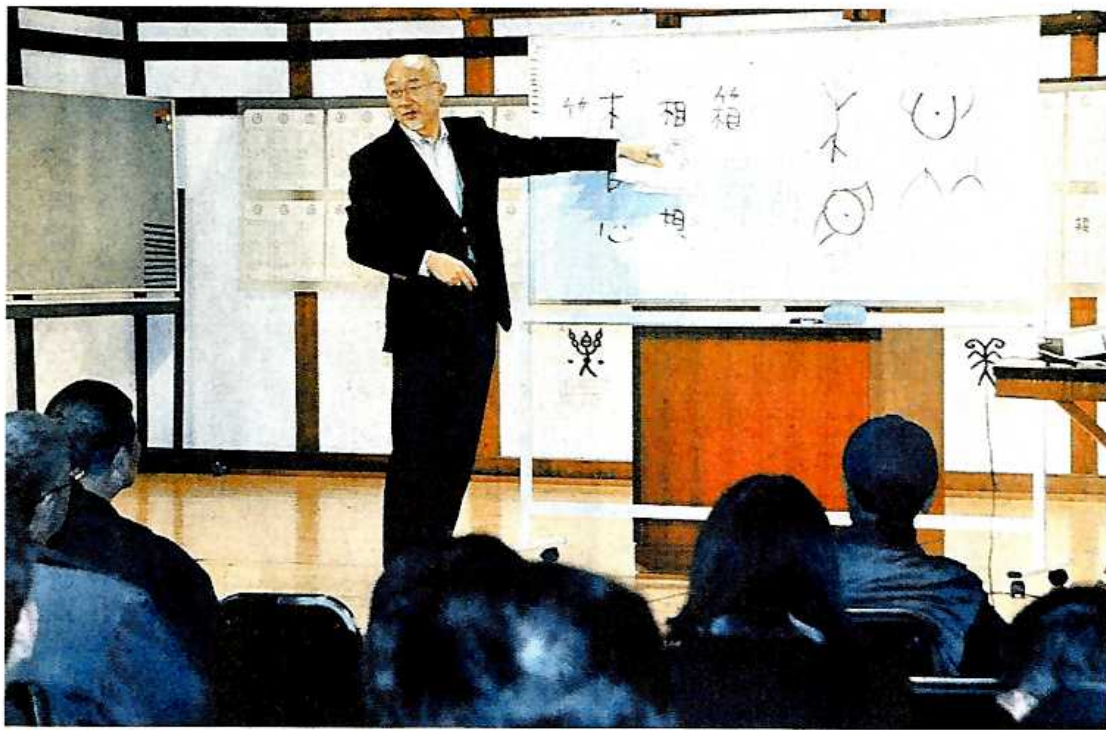


漢字の魅力紹介

喜多方で初のフォーラム



漢字の成り立ちを紹介する高橋さん

講習会や基調講演

審査会で入賞作品決める

漢字のまち喜多方フォーラムは二十三日、喜多方市の大和川酒蔵北方風土館昭和蔵で開かれ、市民らが漢字の魅力に親しんだ。

喜多方を漢字のまちにする会が初めて企画した。約百人が来場し、山口信也市長、吉田昭二国土交通省東北運輸局企画観光部長がいさつした。初めに市内の刻字家で同会メンバーの高橋政巳さんが漢字講習会（初級編）を開き、漢

字の成り立ちなどを紹介した。古代文字を取り入れた授業で知られる東京・暁星小教諭、安次嶺隆幸さんが「子供のやる気を引き出す『世界一の漢字授業』」語源から学ぶ漢字教育の現場から」と題して基調講演した。

「喜多方駅発、感じる漢字あそび」の審査会も開かれ、第二十回を記念して初めて市民の投票で入賞作品を決めた。

会場には授業で漢字を学ぶ関柴小の学習成果や、喜多方桐桜高の小林聖幸君（二年）が作った漢字をテーマにした漫画などが展示された。